

令和8年1月27日
農林水産部食品・流通課**花きの物流効率化に向けて、輸送資材の規格統一の可能性を探る実証実験を行います**

県では、農産物の物流効率化を今後の事業経営に活かせるよう、流通合理化促進の取組を推進しています。

この一環として、花き(チューリップ)の輸送資材の規格を統一することで、どの程度、作業の効率化に繋がるのか、その可能性を探る実証実験を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

記

1 日時

令和8年1月31日(土) 午後5時から午後7時頃まで

※ 積み替え作業(作業工程②)の取材が可能です。

2 会場

株式会社新花

(新潟市江南区茗荷谷711 新潟市中央卸売市場内)

3 概要

物流は国民生活や経済を支える重要な社会インフラのひとつであるが、担い手不足やカーボンニュートラルへの対応など様々な課題があり、今後、対策を講じない場合、2030年度には輸送力が約34%不足する状況に陥ると推計されています。

こうした課題の解決に向けては、積載効率の改善や荷役時間の短縮が必要であり、今回、本県が切り花の出荷量日本一・チューリップの4産地が連携し、輸送資材の規格を統一することで、どの程度、物流効率化に寄与するのか実証実験を行います。

<実験概要>

産地	J A新潟かがやき	J A北新潟
	黒埼地域、白根地域	新発田地域、胎内地域
輸送品目	チューリップ	
作業工程	① 各産地で集荷されたチューリップを、統一規格の輸送資材に格納し中継拠点の株式会社新花へ輸送、集約、車輛から荷下ろし ② 荷物の仕分け、パレット積載、作業時間等の測定 ③ 輸送車輛へ積み込み、各地へ出荷 ※1 貨物の総量は432箱(1パレット108箱*4産地) ※2 ①及び③の時間は未定(当日の状況による) ※3 当日を含めて5回の実証実験を実施。実効性や実用性を検証	

4 その他

取材をご希望の際は、1月30日(金)午後5時までに以下の食品・流通課の担当者へご連絡ください。

<本件についてのお問い合わせ先>

食品・流通課 臼井、渡邊

(直通) 025-280-5743 (内線) 2951

<花き中継拠点化の取組についてのお問い合わせ先>

株式会社新花 代表取締役 玉木

(代表) 025-257-6900